

岡崎市長 殿

学校給食の無償化拡大を求める要望書

【要望趣旨】

学校給食は「食育」とも言われるように教育の一環であり、子どもたちの成長にとって欠かせません。ところがコロナ禍以降円安の下で物価高騰が続き、実質賃金が減少するなかで、家計がひっ迫し、給食費は保護者の大きな負担になっています。

憲法第26条は「義務教育はこれを無償とする」と定めています。小中学生の給食費の無償化は子どもたちの成長する権利を保障し、子育て世代をもつ家庭への大きな支援となります。

岡崎市では現在4月のみ無償になっています。しかし愛知県内では、豊田市、みよし市、安城市、津島市などは全面無償化。豊橋市、大府市、犬山市、小牧市などは半額助成など、無償化へと拡大しています。

岡崎市はオーガニックビレッジ宣言をしました。子どもたちに安全で安心できる給食を提供し、質を落とさないことに加え、保護者に対する日常的な経済的支援が必要です。岡崎市では一年間無償化するのに必要な予算は、約 20 億円とされています。全面無償化をめざしつつ、財政的に無理な場合は、数カ月とか学年を限定した無償化などから始めることも可能です。

また岡崎市がすべて担うのではなく、国や愛知県にも給食無償化の施策を求めるべきです。

以上の趣旨から、以下のことを要望します。

【要望事項】

- 一、 小中学生の給食無償化を拡大すること
- 一、 無償化のための予算補助を国と愛知県に求めること

氏名	住所

※記入していただいた個人情報は、要望書提出以外には使用しません。

※第1次締め切り 9月30日(月)

取り扱い(学校給食の無償化拡大を求める会)